

The Daily NNA インドネシア版

アジア経済情報紙 <http://www.nna.jp/>



PT. NNA INDONESIA

 Setiabudi Atrium Building 2F, Suite 208, Jl. H.R. Rasuna Said, Kav.62
 Kuningan Jakarta 12920 Tel : 021-520-1423 Fax : 021-520-1424 E-mail : sales_idenna.asia

MCI(P)047/04/2014

【インドネシア—車両】

協和合金が工場完工、来年初めに稼働

自動車部品製造販売の協和合金（横浜市）は2日、インドネシアの首都ジャカルタ近郊でシンクロナイザーリング工場の完工式を行った。来年初めに稼働する。同国内への供給のほか、東南アジア全域をカバーする生産拠点として、域内他国への輸出も視野に入れている。



完工式でテープカットする協和合金の高島眞澄社長（中央）＝2日、西ジャワ州ブカシ県（NNA撮影）

工場は、西ジャワ州ブカシ県の工業団地グリーンランド・インターナショナル・インダストリアル・センター（GIIC）に建設した。敷地面積は2万4,500平方メ

ートルで、建屋は5,500平方メートル。

生産する部品は、インドネシアでは日産自動車の低価格ブランド「ダットサン」向けに納入する。タイへの輸出も計画している。

従業員30人で2015年1月に操業を開始する。投資額は約14億円。初年度の年産能力は80万個で売上高3億円を目指す。17年には200万個を生産し、10億円に引き上げる計画だ。

高島眞澄社長は「高い経済成長率を維持し、政治が安定している事に加え、顧客から進出への要望が強かったことから進出を決めた」と述べた。一定の売り上げが見込めることも要因と付け加えた。

現地法人キョウワ・シンクロ・テクノロジー・インドネシアのハツ橋渉社長は、「来年2月に4億円をかけた第2次設備投資を行い、受注済みの生産量を確保する」と語った。第2工場の建設を検討しているほか、将来的に研究開発（R&D）拠点を設置する意向も示した。

協和合金の海外拠点は、中国の武漢に2工場、インドに1工場、フランス・パリに販売子会社がある。現在の海外売上比率は5割だが、来年は7～8割まで拡大すると見込んでいる。